

花びと通信

花と緑のあるふるまちづくり

No.28 2017年8月20日

花びと会ちば

平成29年度 総会報告

4月12日(水) 千葉市国際交流プラザにおいて、総会が開催されました。

28年度の事業報告、収支決算報告並びに29年度の受託事業(啓発・イベント)、自主事業(研修会・講習会)、収支予算がすべて承認されました。



総会に先立ち、三陽メディアミュージアム(旧 花の美術館)施設長の上坂美香さんによる『花の美術館の20年』と題して、花壇デザインの移り変わりや植栽の苦労話等をお聞きしました。開館以来の入館者は、300万人を超え、四季折々の花が人々の憩いの場になっているようです。

【大賀ハスシンポジウム】 ~これまでの半世紀、これからの半世紀~

日時: 29年7月22日(土)

場所: 千葉市文化センター 5階セミナー室

参加者: 133名

主催: 蓮文化研究会・大賀ハスのふるさとの会・花びと会ちば

一部: 基調講演 大賀ハスの発掘から半世紀を振り返って

講師: 阪本尚生さん(和歌山大賀ハス保存会会長)

二部: 基調報告

* 東大緑地植物実験所と大賀ハス

講師: 南定雄さん(蓮文化研究会会長・元東大技術専門官)

* 千葉市における大賀ハスの取り組み

講師: 斉藤久芳さん(元千葉市中央稲毛公園緑地事務所長)

◇最後に三者による「大賀ハスの未来について」パネルディスカッション



今年、千葉市の花「大賀ハス」の開花65周年です。千葉市の花見川区から発掘され、翌年には見事に開花し平和と友好の使者として国内外に分根されています。千葉市においても系統保存に努め千葉公園の蓮池は、毎年見事に開花しその美しさは日本一と言われています。しかしながら、他市の取り組みから見れば不足する事も多々

あります。各地の取り組みを知り、大きな視点から千葉市の財産である「大賀ハス」の未来について考えるシンポジウムとなりました。

2017 「大賀ハスまつり」にドローン飛来！

- *開催期間 6月17日～6月25日 開催場所： 千葉公園 蓮池周辺
- *共 催 花びと会ちば・千葉市
- *協力団体 千葉市民懇話会・千葉市造園緑化協同組合・株式会社いまでや・公益財団法人文化振興財団・千葉公園通り商店会・千葉商工会議所女性会・千葉市園芸協会・(公財) 千葉県学校給食会・千葉都市モノレール(株)・(有) フォルテ・千葉市女性団体連絡会

伝統ある「大賀ハスを観る会」からリニューアルして、2回目となる「大賀ハスまつり」が6月17日の土曜日から26日の日曜日まで、9日間の日程で千葉公園・蓮池周辺で開催されました。



開会式には熊谷千葉市長をはじめ、千葉市議会議長やご協力団体のみなさまにご出席いただきました。「太古のロマンあふれる大賀ハスは千葉市が誇る財産です。これからも大切に守っていきたい」と熊谷市長のご挨拶が始まりました。するとその時、蓮池の上空にドローンが飛来。咲き誇る約350本の大賀ハスを空撮。近未来から出現したかのようなドローンと古代から蘇った大賀ハスの「世界初のツーショット」が話題になりました。

今年は綿打池のボート乗り場近くにウッドデッキが新設され、パラソル・カフェが楽しめるようになりました。花びと会が出店した蓮華亭エリアの茶席にも多くの方が立ち寄られました。今回は会員スタッフ5人が慣れない浴衣姿でおもてなしに奮闘しました。大賀ハスの花を染め付けたゆかたは手づくりです。手前味噌ながら、これも大賀ハスとの世界初の「風流なツーショット」となったでしょうか。

また、新企画として、公園入口に看板を立て、園内にはのぼり旗を配置しました。お祭り気分が加わって昨年と比べて、期間中の来園者は約1.5倍に増加しました。期間中、土曜日と日曜日が各2回ありました。延べ4日間の休日に対応して、講演・講座・音楽イベントが多数開かれ、さまざまな出店なども賑わいました。なかでも、大賀ハスの研究者である南定雄さんのお話や「大賀ハス発見の由来」と題した佐々木羅々梅さんの講談は大好評でした。箏、太鼓、津軽三味線などによる邦楽からクラリネット、バイオリン、フルート、サクソ演奏やバンド、ライトミュージックまで盛りだくさんの音楽シーンが繰り広げられました。

平日開催の果托クラフト、コケ玉作り、フラワーアレンジメントなどの「ワンコイン体験講座」も好評でした。長い行列ができ、ダントツ人気イベントは「象鼻杯」でした。



《 大人気のコケ玉作り 》



ハスの茎をストローのようにして、お酒やジュースを飲みます。「大賀ハスマつり」ならではの特別イベントです。各休日の先着100人の整理券は毎回すぐになくなりました。3時間待ちの人もいたそうです。ネット社会を反映して、なんとフィンランドからやって来た人にはビックリしました。又、ネットで見たと韓国や中国からも訪れた方もお

り、象鼻杯をきっかけに外国の方々にも大賀ハスの神秘と美しさを知っていただけただけのはうれしいことです。大賀ハスの妖精「ちはなちゃん」キャラクターは、今年も大賀ハスのPRに大活躍しました。ピンバッチ、キーホルダーは好調な売り上げをキープしました。千葉市のゆるキャラ「かそりーぬ」たちも応援に駆け付けてくれました。JR企画の「駅からハイキング」での来園者も増えてきました。課題も見つかりましたが9日間、ほぼ天候にめぐまれ、大盛況のうちに幕を閉じることができました。協力団体のみなさまには大変お世話になりました。これからも大賀ハスがより多くの人に愛されていくように花びと会は交流の芽を育てていきたいと思ひます。



【お茶席】・・・特別オープン

お茶席を依頼され少しためらいましたが、仙波会長のお願いをお受けいたしました。天候が気掛かりでしたが無事「四日間」終了することが出来ました。お茶をたてるだけの事ですが、お湯の加減等に注意を払い一服のお茶としてお出しいたしました。お運び中、皆様からお菓子、お茶が美味しいとお声を掛けて頂き、ホッとしました。今回は、お茶が間に合わない程の忙しさで大変でしたがこれも良い経験になりました。また、大賀ハスの為に仕立てられた浴衣を着させて頂き花をそえる事が出来たでしょうか。【前田宗幸】



【市民バンド】

最終日、あいにくの雨にもかかわらず、大賀ハスの池周辺には多くの人々が訪れていま



した。蓮華亭内では、この日のために総勢約25人を数える音楽仲間たちにより、9つのバンドユニットを結成し、ポップス・フォーク・ジャズ・フュージョン・ナツメロック!?など、多様なジャンルで構成し、皆様に楽しんでいただけるようにポピュラーな選曲で生演奏をさせていただきました。

今回の大賀ハスマつりを盛り上げるイベントの趣旨に快く賛同し、プロ、アマ問わず参集してくれたことにも感謝しています。 【まんぼうグループ：ヒロ☆PAN】

【市民会館 花だん記】

市民会館の花壇に3年目の夏がやってきました。毎日まいにち赤、白、黄、オレンジの色とりどりの花を咲かせるジニア（百日草）を選びました。

メキシコ原産で暑さや日照りに強く、花期が長く病気に強い夏にぴったりの強い花です。今年の梅雨は雨が少なく、いきなり真夏日に突入！！コンクリートの花壇、強い日差し、水不足。こうした厳しい環境が続いていますが、会員の皆さままで花がら摘みや水かけの手入れで元気に咲いています。

【他団体との交流】・・・千葉商工会議所女性会の要請で

日時：29年6月2日（金）10：00～17：00

場所：東京ベイ幕張ホール

千葉市商工会議所女性会の高梨会長より、関東商工会議所女性連合会の総会となる千葉大会に物産展出店の依頼を受けて、千葉県内の有名店と肩を並べ、会員で作りましたプリザーブドフラワー、蓮の果托、ちはなちゃんグッズ（ピンバッジ、ストラップ、キーホルダー）をテーブルに並べました。6月17日から始まる「大賀ハスマつり」のチラシを来場された方々にお配りして、千葉公園にお越しくださいとアピールいたしました。



【今後の予定】

月 日	内 容	場 所
9月9日（土）14時～16時	市民公開講座（薬草の健康術）	千葉中央 CC 8階
9月14日（木）10時～	木の実を使ったリース作り	千葉中央 CC 6階サークル6
9月25日（月）8時半	花壇の花苗植え込み	千葉市民会館
10月17日（火）～22日（日）	フラワーフェスティバル	三陽フラワーミュージアム
10月21日（土）22日（日）	花びと会として 親子寄せ植え講座 リース作り・花カフェ	同上
12月上旬	年末年始に 華を添える *壁飾り作り	千葉中央 CC
12月下旬	花壇の花苗植え込み	千葉市民会館



個人会員＆賛助会員 募集！

花や緑に関心のある方一緒に活動しませんか。

研修会、講座、講演会等を開催しています。

個人会員・団体会員：年会費：1,000円

賛助会員 年会費：3,000円

花びと会ちば

事務局「千葉市都市局公園緑地部緑政課」

Tel043-245-5753 Fax043-245-5885